

あすはまだより 5月12日(火)

みなさん、こんにちは。元気ですか？

きょうは、カエルの話^{はなし}をしたいと思います。

今の時期^{じき}、夕方^{ゆうがた}になるとカエルはいっせいに鳴き^な出しますね。みなさんも、きつと聞いたことがあるでしょう。では、なぜカエルはあんなに鳴く^なのか知^しっていますか？きょうは、そのお話^{はなし}をしたい^{おも}います。

カエルのけっこん

カエルは、今、けっこんあいてをさがすさい中です。オスは大きな声^{こえ}で鳴^ないて、メスをよんでいるのです。オスののどには「鳴^なのう」とよばれる大きな音を出すしくみがはったつしていて、大きな声^{こえ}で鳴^なけるようになっています。わたしたちが、さいきん毎日^{まいにち}耳^{みみ}にするカエルの鳴き声^なは、オスの鳴き声^ななのです。オスは鳴^ないて、メスはオスをえらぶことで、カエルのけっこんがせいつします。

カエルがけっこんの相手^{あいて}をさがす(繁殖^{はんしよく}期^きといいます。)きかんは、1ヶ月^{いじょう}以上になります。卵^{たまご}をうむじゅんぴがととのったメスからじゅんにやってきます。どのオスもメスに選^{えら}ばれるために、大きな声^{こえ}できそい合うよう^なに鳴^なきます。こうしてたくさんのオスがいっせいに鳴^なき合うので、カエルの合唱^{がっしょう}のように聞こえるのです。

カエルのさんらん

こうしてオスをえらびけっこんしためすのカエルは、^{へいち ひく}平地や低い山にある田んぼのような水の浅いところで^{たまご}卵をうみます。^{たまご}卵は、「らんかい」(^{しゃしん}写真1)とって、かたまりの状態^{じょうたい}で田んぼのイネや水草の根元^{ねもと}に産み付けられることがお多いです。

^{たまご}卵はゼリーじょうのものにつつまれています。少し日^{すこ}がたつと、^{たまご}卵はふ化して、オタマジャクシがうまれます。

オタマジャクシは生まれたあと、1週間^{しゅうかん}くらいで田んぼの中をおよぎはじめます(^{しゃしん}写真2)。そして、オタマジャクシになってから、20日くらいで尾^おの付け根^{つけね}のところから^{うし}後ろ足が生えてきます。

さらに10日ほどたつと、^{こんど}今度は、えらのあつたところから^{まえ}前足が生えてきます(^{しゃしん}写真3)。また、からだだけでなく顔^{かお}も目も^と飛び出し、口も大きくなって、カエルらしくなってきます。



写真1 カエルの卵

(写真はフリー素材より抜粋)



写真2 卵からかえったオタマジャクシ



写真3 手と足が生えてきたオタマジャクシ

そして、手足が生えて尾^おがかんぜんになくなる^{まえ}前に、イネや草によじのぼったり、陸^{りく}にあがったりします。



写真4 オタマジヤクシがカエルになった！

このようにしてオタマジヤクシはカエル
(写真4) になります。

どうでしたか？オタマジヤクシがカエルになるようすが少しつかめたでしょうか？

今、田^た植^うえがおわった田んぼをのぞくと、カエルの卵^{たまご}の「らんかい」や、小さなおたまじゃくしを見ることができるかもしれません。きかいがあったら、田んぼをのぞいてみてくださいね。

<参考文献>

武田 正倫 2010,『学校のまわりでさがせる生き物図鑑』金の星社
福山 欣司 2013, 自然保護 MAR. No.532

さて、はまかぜ^{きゅう}級のいちごが、今、緑^{みどりいろ}色
の実^みをつけています。まだ、小さいですが、
だんだん大きくなりそうなきおいです。また、いちごに^{へんか}変化があったら、このホームペ



はまかぜきゅうのペランダにあるイチゴ

ージでお知らせしますね。

では、早ね早おきをして、元気にすごしてくださいね。

